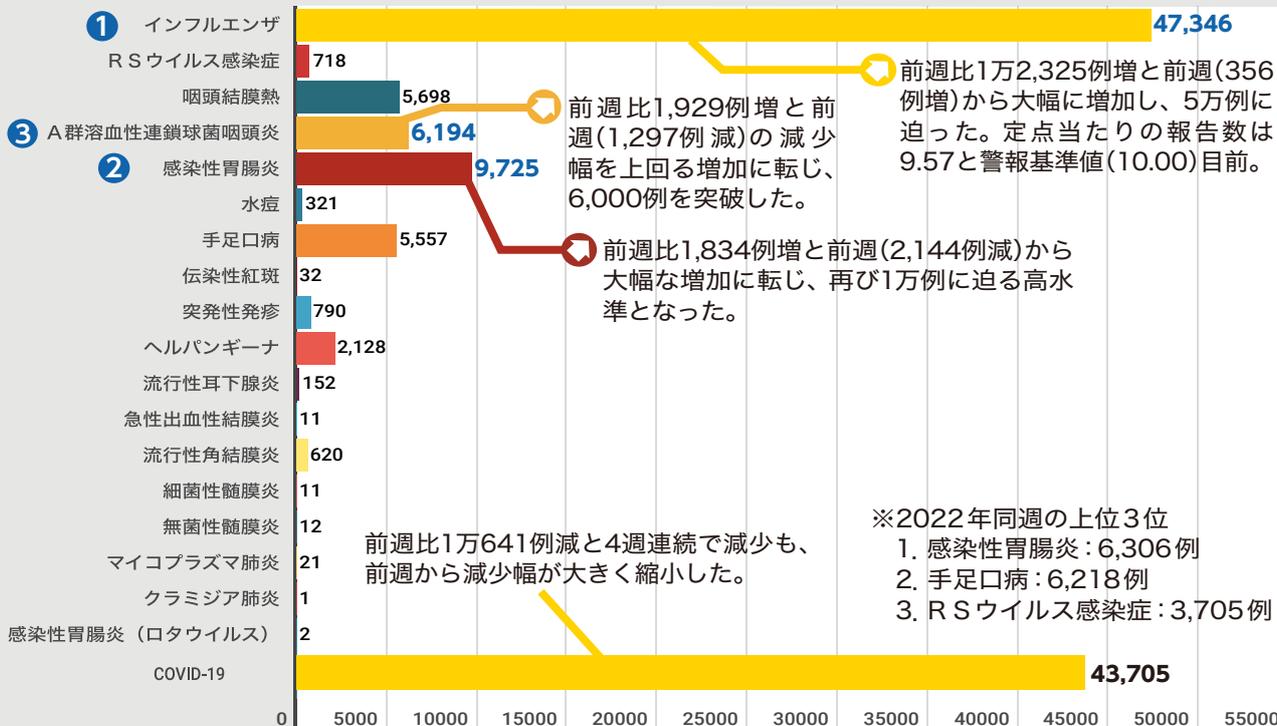


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフルエンザ、警報基準値目前に

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

1 インフルエンザ

報告数

- 東京都: 6,913例
- 神奈川県: 5,478例
- 千葉県: 3,991例

定点当たりの報告数(9.57)

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. 沖縄県: 25.93 | 4. 山口県: 19.39 | 7. 神奈川県: 15.05 | 10. 愛媛県: 13.84 |
| 2. 千葉県: 19.56 | 5. 東京都: 16.58 | 8. 熊本県: 14.91 | 11. 徳島県: 12.32 |
| 3. 大分県: 19.55 | 6. 宮崎県: 16.31 | 9. 埼玉県: 13.98 | 12. 茨城県: 11.99 |

2 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 934例
- 埼玉県: 630例
- 神奈川県: 616例

定点当たりの報告数(3.09)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 7.36 | 4. 宮崎県: 5.39 | 7. 山梨県: 5.00 | 10. 岩手県: 3.98 |
| 2. 香川県: 6.25 | 5. 石川県: 5.34 | 8. 愛媛県: 4.59 | 11. 岡山県: 3.94 |
| 3. 福井県: 5.40 | 6. 熊本県: 5.02 | 9. 福岡県: 4.37 | 12. 埼玉県: 3.84 |

3 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 大阪府: 538例
- 東京都: 521例
- 埼玉県: 518例

定点当たりの報告数(1.97)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 5.26 | 4. 山口県: 3.07 | 7. 宮崎県: 2.81 | 10. 北海道: 2.42 |
| 2. 福岡県: 3.28 | 5. 奈良県: 2.94 | 8. 大阪府: 2.73 | 11. 長崎県: 2.30 |
| 3. 埼玉県: 3.16 | 6. 富山県: 2.83 | 9. 兵庫県: 2.57 | 12. 滋賀県: 2.22 |
| | | | 12. 愛媛県: 2.22 |

今週の感染症動向

インフルエンザは、前週の微増から1万2,000例を上回る大幅な増加となり、5万例に迫りつつある。定点当たりの報告数も9.57と警報基準値(10.00)目前になり、注意報レベルの地域も9都県から14都県に拡大した。感染性胃腸炎とA群溶血性連鎖球菌咽頭炎は前週の減少から一転、いずれも約2,000例の大幅増となり、依然高水準での推移が続いている。手足口病は前週から1,408例増加し、佐賀県では定点当たりの報告数が6.13と第35週以来5週連続で警報基準値(5.00)を超え、咽頭結膜熱も前週から1,572例増加し、福岡県(5.73)、沖縄県(4.48)、大阪府(4.24)に加え、奈良県(3.88)で警報基準値(3.00)を超えた。

COVID-19は、前週比1万641例減と前週(3万2,164例減)から減少幅こそ3分の1に縮小も減少が続く。定点当たりの報告数も8.83と2桁台を割り込み、2桁台の地域は31府県から8道県に縮小した。しかし、多くの感染症が増加傾向や高水準にあり、手洗いやマスク着用などの感染対策の見直しと強化が必要である。